

11月24日 総合教育会議テーマ

資料2

東広島の特徴ある教育



東広島市の学校教育の特色とは

- 関わりきる生徒指導、活発な部活動
- 戦前から続く熱心な授業研究
- 地域による学校への豊富で幅広い支援活動
- 学校間の学びあい、市独自の研究公開制度
(教育推進校制度2年間指定。順番に全校。県内唯一) 市制施行以来、317回。
- 授業外の校務も教員が分け合って担当
- 新しい特色－和文化教育 (H14年～) 東広島スタンダード (H20年～) 小中一貫・接続教育 (H24年～)



高い教育力とは何か

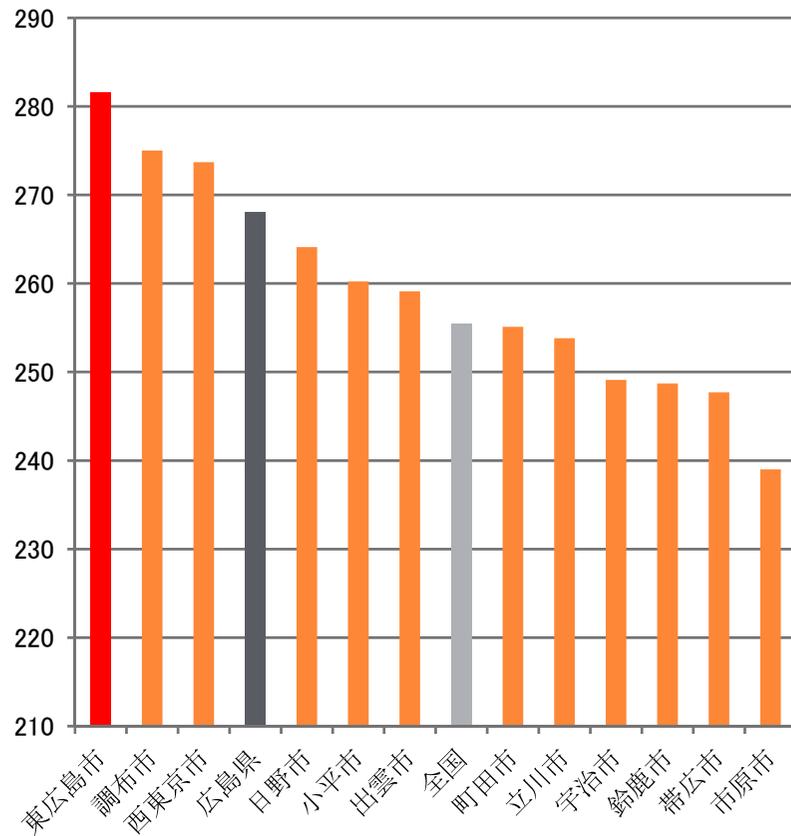


- 学力—都道府県比較で全国トップレベル
類似団体との比較でも抜きんできた高さ
- 団体での表現力—オペラ白壁の街、組曲西條に代表される児童生徒の姿
- 情操—一校一和文化、東広島スタンダード
- 体力—新体力テストのほとんどの項目で全国平均超え

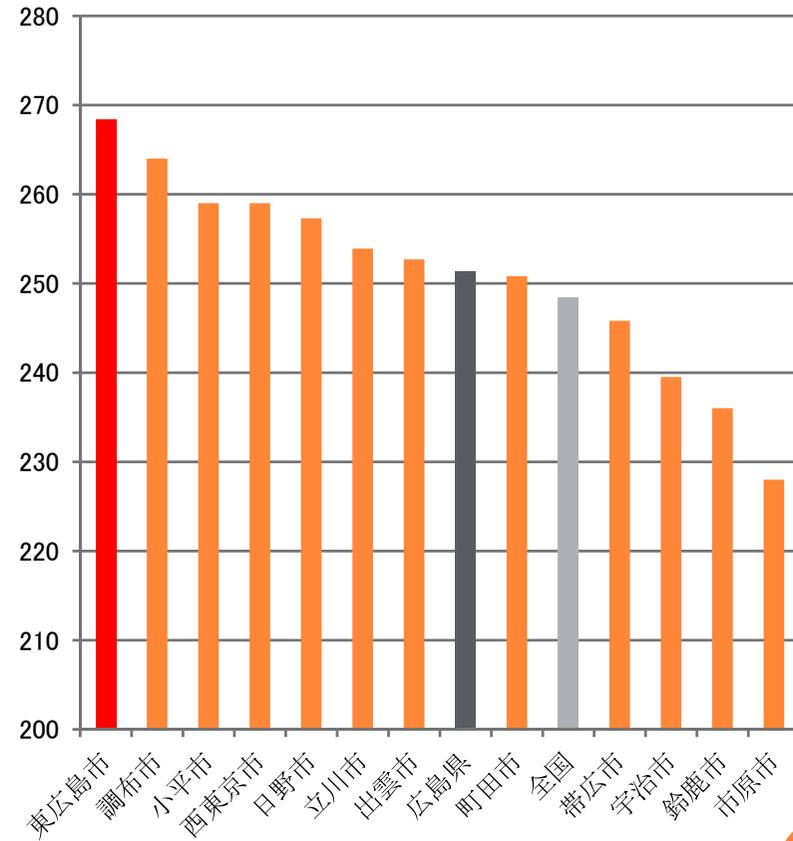


類似団体との比較 H29年度全国学力・学習力調査結果

(小学校)



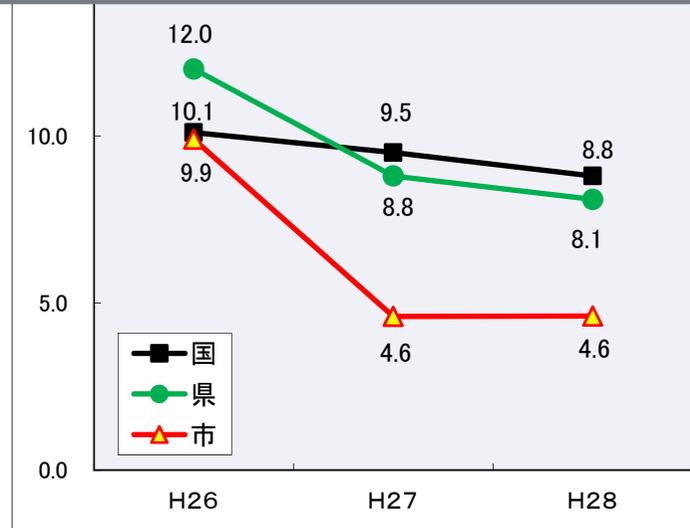
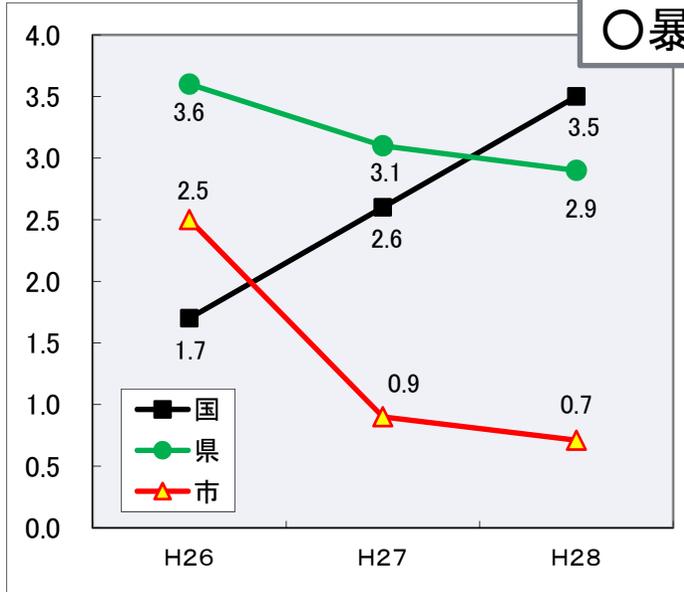
(中学校)



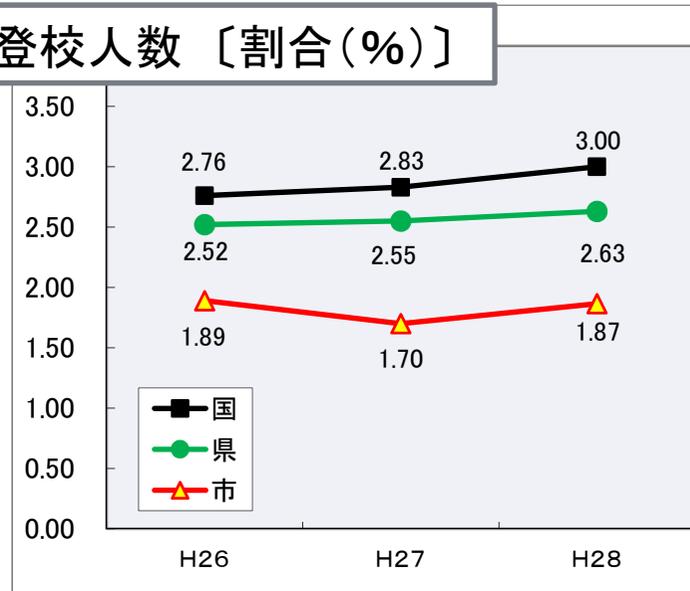
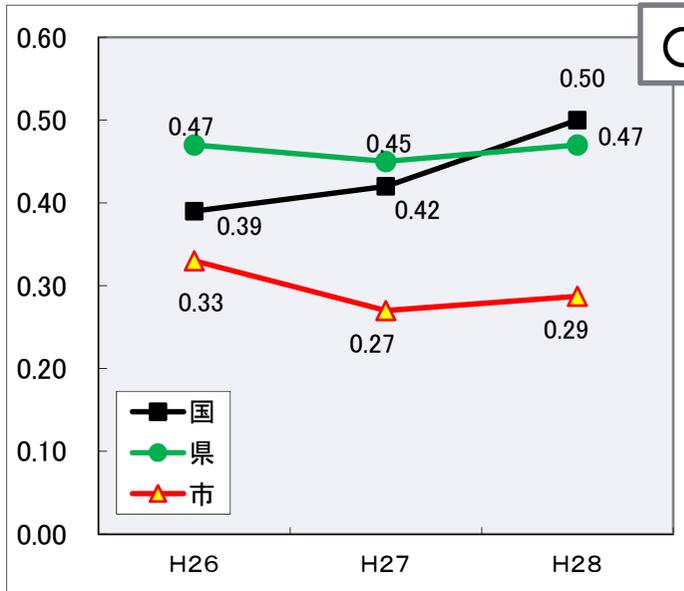
小学校

中学校

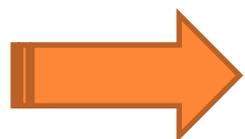
○暴力行為〔1,000人あたりの発生件数〕



○不登校人数〔割合(%)〕

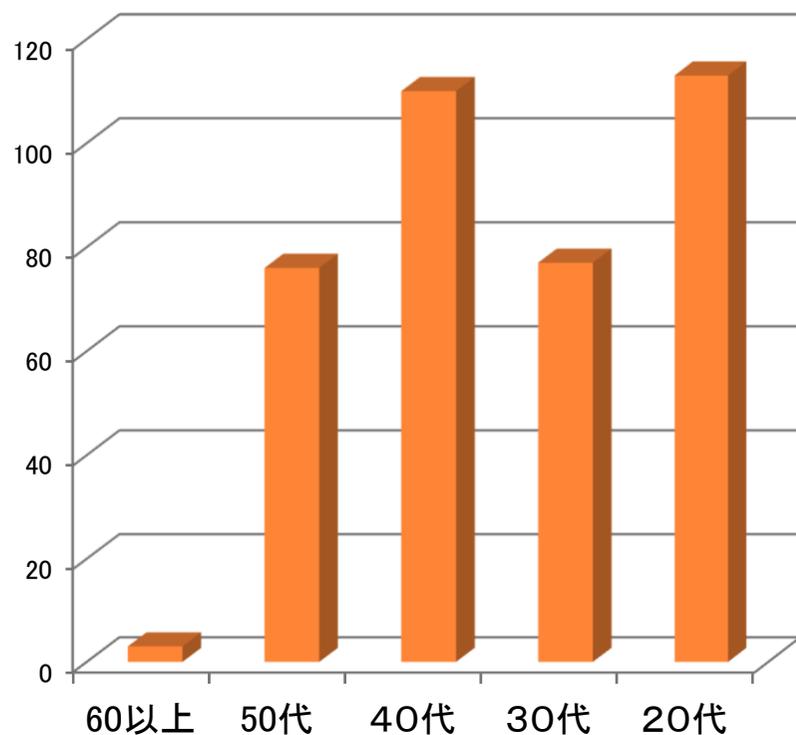


世界標準の教育実現のため 最も基本的な課題

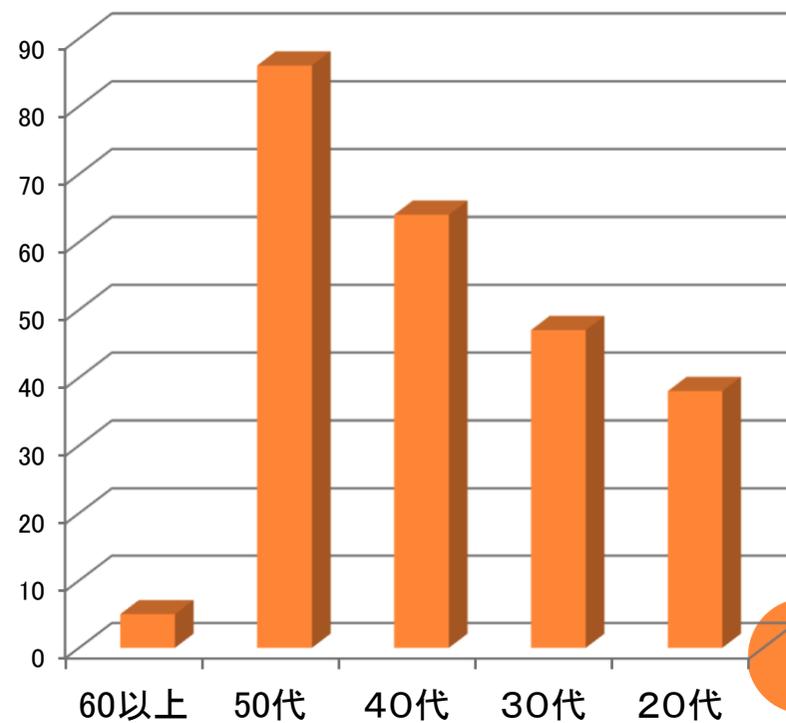


若手教職員の指導力の向上=伝統の継承

小学校 普通学級担任のみ



中学校 本務者教員



キーコンセプト

グローバル・スタンダード

世界標準の教育で「夢と志」を育てる東広島

なぜ、世界標準か — 東広島の現状から構想

視点① 東広島市の強みを生かす

— 外国人市民の多さ、東広島市の国際色 —

- ①最先端の英語教育目標設定
— 中3で英検3級レベル70%
- ②PISA型学力を育てる
— 読解力と読書教育重視
- ③ICT活用力の向上
— 小学校でタブレット活用
6年生全員が、プログラミング体験

視点② 東広島市教育の再認識

— 伝統は実績。伝統はプライド —

- ①和文化教育の伝統 — 国際社会を生きる日本人としてのアイデンティティ
- ②西条独創教育の再生 — 子どもの力を信じ、高める教育(フィンランド教育と対比)
- ③日本の学校教育の伝統を重視 — 全人格的に、子どもに関わりきる教職員

- ①中学生が大学で最先端の学びを体験
- ②イングリッシュ・キャンプ、ホームカミングDAY、大学祭の場の活用
- ③インターンシップ、教育実習などで、小中学校で大学生が交流

視点③ 大学を学びのキャンパスに

— 連携事業の再構築 —

PISA読解力調査結果国別比較

2015 順位	国名	平均 得点	2012 順位	2009 順位	2006 順位	2003 順位	2000 順位
1	シンガポール	535	3	5	—	—	—
2	香港	527	2	4	3	10	—
3	カナダ	527	9	6	4	3	2
4	フィンランド	526	6	3	2	1	1
5	アイルランド	521	7	21	6	7	5
6	エストニア	519	11	13	13	—	—
7	韓国	517	5	2	1	2	6
8	日本	516	4	8	15	14	8
9	ノルウェー	513	22	12	25	12	13
10	ニュージーランド	509	13	7	5	6	3
11	ドイツ	509	20	20	18	21	21
24	アメリカ	497	24	17	—	18	15
	参加国数・70		65	65	57	40	31



「世界標準」までの10の課題と7つの施策方向（事業推進）

①英語教育の充実

①A L T 増員・英検3級レベルの評価テスト導入

②学力の底上げ－育て残している子どもたちへの支援

②授業力の向上

西条独創教育の再構築

P I S A 型学力（読解力）

③活用力・読解力（国際的に認知された学力）

④増え続ける特別支援教育ニーズ（発達障害対応）

⑤ICT活用の授業力

③I C T 環境の整備促進と授業力とのマッチング

⑥さらに高い志を（大学連携）

④キャンパスで最先端の学びに触れる

⑦新しい形の学校支援策

⑤退職教員の活用－教育シルバーセンターの設置

⑧地域との新しい連携（コミュニティスクール）

⑥学校統合と絡めて、
市全体の取り組みを加速

⑨小中一貫教育（義務教育学校）

⑩SNS時代のいじめ、問題行動対応

⑦新しい時代の生徒指導方法の確立